**猪名川町記者発表資料**

**令和４年（2022）11月14日**

**流通科学大学と包括連携協定を締結**

**【概　要】**

11月14日（月）猪名川町役場で、猪名川町と学校法人中内学園流通科学大学において地域活性化に関する包括連携協定を締結することで合意に達し、調印式を行いました。

本協定は、包括的な連携のもと、観光振興や地域経済の活性化、地域づくり、教育・文化の振興、人材育成、福祉の増進等の分野で相互に協力し、活力ある地域づくりと大学の活性化に寄与することを目的としたものです。

≪流通科学大学・猪名川町　包括連携協定調印式≫

１　日時　　令和４年１１月１４日（月）　１１：００ ～ １２：００

２　会場　　猪名川町役場　第二庁舎２階　委員会室

（兵庫県川辺郡猪名川町上野字北畑１１－１）

３　出席者

|  |  |
| --- | --- |
| 猪名川町 | 流通科学大学 |
| 町長 | 岡本　信司 | 学長 | 藤井　啓吾 |
| 副町長 | 奥田　貢 | 副学長 | 清水　信年 |
| 教育長 | 中西　正治 | 人間社会学部　観光学科主任・教授 | 西村　典芳 |
| 　企画総務部長　　　　　 | 森　昌弘 | 大学事務局長 | 加古　眞一 |

４　内　容　代表挨拶、協定書署名、連携事業に関する概要説明、質疑応答

【自治体と大学との包括連携協定について】

猪名川町　関西大学に続いて２例目

　流通科学大学兵庫県、神戸市、神戸市西区に続いて4例目

**【町長コメント】**

流通科学大学におかれましては、学生がマーケティングの知識を生かし、企業や地域・自治体が抱える課題の解決に取り組むプログラムとして社会共創活動を積極的に実践しておられます。猪名川町では阪神地域に位置する都市近郊のまちとしての立地の優位性や、新名神高速道路の開通効果をまちづくりに活かしながら、人口減少社会にあって地方から元気を発信したいと考えております。

令和３年度に策定した「第二次猪名川町観光振興基本計画」では、猪名川町にとって観光振興は地域経済の活性化や住みよいまちづくりに欠かすことのできないものと位置づけ、観光まちづくりを進めていく中で流通科学大学の専門的な知見や、様々な研究を積み上げておられる各部の教授、また学びへの意欲が積極的かつ柔軟な学生たちなど外部からの客観的な意見は、必要な力であると考えております。

本日、こうして流通科学大学と、猪名川町のまちづくりに対して、共感できたことは、本町にとっても大きな歩みであります。今後も、様々な分野において連携し取り組んでいければ嬉しく思います。

【**学長コメント】**

ここ猪名川町において、流通科学大学と猪名川町との連携協力に関する協定を締結できますことは、本学にとっても大変意義深く、光栄なことと存じております。本学は、流通を科学する大学として1988年4月に開学し、現在は3学部7学科、収容定員3600人の中規模の社会科学系の大学です。

兵庫県下でも数少ない、観光学科を擁する大学といたしまして、今回の協定におきましても、猪名川町の観光振興や地域経済の活性化に関すること、特色ある地域づくりに関することなどを起点にして、具体的な連携協力事業を重ねることを通じ、猪名川町と本学との連携協力関係が深まることを念願いたしております。

長年にわたって歯止めのかからない少子化の流れは、我が国の多くの自治体や地域、そこに所在する大学にも数多くの課題をもたらしています。それぞれの課題に対しても、大学での学びが社会にどのように活かされていくのか、地域と連携することで社会の課題解決策を見出す実践の場とする研究の側面からも、貴重な関わりとしていきたいと思っております。

今回の連携協力に関する協定を機に、これらの課題の解決に向けて互いの知識を紡ぎだすとともに、次の世代を担う若者たちの経験や育成にもつなげていければと願っております。

**【問合せ】**

企画政策課広報戦略室

担当：宮田、林（℡０７２－７６６－８７０７）



